

[ 月刊 ] 1988年6月18日第三種郵便物認可

# トマ喰い虫

〒150 東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502  
トマ喰い虫社

☎03(498)6095 火曜休  
045(563)5101 いつでも  
FAX045(563)9907

郵便振替 東京6-136148

No. 63  
91.1.20  
定価 100円



1月19日東京にて

**湾岸戦争反対！ いますぐ停戦を！**  
**自衛隊機の派遣・90億ドル戦費負担を許さない**  
各地から反戦の声あきあがる  
**ついにつかわれたトマホーク（梅林宏道）**  
原潜入港回数最高を記録：横須賀

[ 発行 ] トマホークの配備を許すな！ 全国運動

●維持会員（月間会費）

団体 1口 2000円

個人 1口 1000円

●参加会員（月間会費）

団体 1口 1000円

個人 1口 500円

●通信会員

年間 1口

2000円

あなたも仲間にも！（会費は本誌購読料を含みます）

# 自衛隊機を送るな！ 人殺しへの資金援助を

# 止めろ！



## 超法規的戦争協力策の撤回を求めます

日本政府は、湾岸戦争に協力するために九〇億ドルの追加支出と難民輸送のための自衛隊機使用を、本日閣議決定しました。

私たちは、この決定に反対であり強く抗議します。

この決定は「国際紛争の解決に武力行使はしない」と戦争放棄を決意した日本国憲法の精神を踏み躪るものです。憲法は戦争というものの基本認識を表明しており、単に日本の自衛隊の行動を規制するという狭い立場に留まらず、外交政策を支配する根本精神がそこにあると考えるべきです。「自分の国は武力行使をしないが、他の国の武力行使は奨励する」と言うのでは、日本は自分勝手な国だという国際的な非難を受けるのは当然でしょう。日本政府がやっていることは、まさにそういうことになりません。

日本政府がいま緊急になすべき国際的貢献とは、この日本国憲法の立場を積極的に活用し、多国籍軍とは別の論理で湾岸戦争の停止にむけて最大限の外交的、経済的な努力をすることです。にもかかわらず、今回の政府決定は、それに全く逆行するものです。

さらに、九〇億ドルの支出は、伝えられている一日五億ドルの多国籍軍戦費の三カ月分の二〇パーセントの分拒という説明からも想像できるように、戦費そのものです。これは、国民的な議論を待たずに国民を戦争に巻き込む、極めて超法規的な政府権力の乱用であります。国民には、政府から、この金額の積算根拠すらも明らかにされていません。その使途を明確にする機構すら不明です。

自衛隊機の海外派遣については、「国連平和協力法」が廃案になった時点で政府は国民世論がどこにあるかをすでに十分知っているはずですが、そこを今回は政令をいじくることによって国会論議をさげ、いわば実力行使によって既成事実を作ろうとしたものであり、民主主義を踏み躪る許しがたい行為と言わざるを得ません。しかも、そもそも自衛隊法一〇〇条の五①は、「国賓、内閣総理大臣その他政令で定めるものの輸送」というそれ自身の文言と施行令の一〇〇条の五①に規定する政令で定める者は、次に掲げる者とする。一、天皇及び皇族、二、国賓に準ずる賓客、云々」という文言で明らかのように、戦争地域の難民輸送のような場合をいささかも想定していないものです。この条文を自衛隊機派遣の根拠にするのは国会を経ずしてことをなそうとするこじつけ以外の何物でもありません。

以上のような理由で、私たちは今回の政府の決定に強く抗議し、その撤回を求めます。

私たちは、一、日本政府の湾岸戦争停止と中東平和努力、二、多国籍軍の戦闘中止と撤退、三、イラクの戦争拡大政策の停止とクウェートからの撤退、を求めて、多くの市民団体とともに最大の努力を払う所存です。

一九九一年一月二五日

トマホークの配備を許すな！全国運動

代表

内閣総理大臣 海部俊樹様

●とうとう戦争が始まってしまった。一月十七日午前、米軍多国籍軍によって一方的に開かれた湾岸戦争の戦火で、人々が今も殺されている。イラクはイスラエルやサウジへの報復攻撃でこれに応えている。戦争は何も生み出さない。死と自然破壊と憎しみと絶望以外の何もつくりださない。正義の戦争などない。戦争は不正義そのものなのだから。「正義」を皮剥けば石油利権と覇権の争いでしか

ない戦いで死んでいくのは名もない庶民だ。  
●おしゃべりをしていひまはもうない。殺し合いを今すぐに止めさせるために行動しよう！多国籍軍は攻撃を止め中東から撤退しろ！イラクはクウェートから撤退しろ！テレビ・ゲームのように人々を殺すのをやめろ！日本政府の戦争協力をなんとしてもやめさせよう！力をあわせてがんばろう！

日本政府へ：戦争協力を止めよ！ 平和のために汗を流せ！  
〒100 東京都千代田区永田町2-3-1 首相官邸  
内閣総理大臣 海部俊樹 ☎03(3581)0101

各政党へ：戦争協力賛成の政党は地方選でおこす！  
●自由民主党 〒100東京都千代田区永田町1-11-23 ☎03(3581)0111  
●日本社会党 〒100千代田区永田町1-8-1 (3580)1171  
●民社党 〒105港区虎の門2-3-13第18森ビル内 (3501)5111  
●公明党 〒160新宿区南元町17 (3353)0111 ●日本共産党 〒105渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 (3403)6111 ●社会民主連合 〒112文京区水道2-6-3トッパ江戸橋2F (3943)7735

多国籍軍に参加する各国へ：即時停戦と撤退を！  
●アメリカ合衆国大使館 〒107東京都港区赤坂1-0-5 ☎03(3583)7141  
●イギリス大使館 〒102千代田区一番町1 (3265)5511 ●イタリア大使館 〒108港区三田2-5-4 (3453)5291 ●オーストラリア大使館 〒108港区三田2-1-4 (3453)0251 ●エジプト大使館 〒153目黒区青葉台1-5-4 (3770)8021 ●オランダ大使館 〒105港区芝公園3-6-3 (3431)5126 ●カナダ大使館 〒107港区赤坂7-3-38 (3408)2101 ●ギリシャ大使館 〒106港区西麻布3-16-30 (3403)0871 ●シリア大使館 〒107港区赤坂6-19-45 (3586)8977 ●スペイン大使館 〒106港区六本木1-3-29 (3583)8531 ●ソビエト連邦大使館 〒106 港区麻布台2-1-1 (3583)4224 ●パキスタン大使館 〒106港区元麻布2-14-9 ●パングラディッシュ大使館 〒105港区白金2-7-45 (3442)1501 ●フランス大使館 〒106港区南麻布4-11-44 ●ベルギー大使館 〒102千代田区二番町5 (3262)0191 ●モロッコ大使館 〒151渋谷区千駄ヶ谷3-16-3 (3478)3271

イラク大使館へ：クウェートから撤退を！ 戦争拡大をやめろ！  
〒107 東京都港区赤坂8-4-7 ☎03(3423)1727

マスコミに：「戦況評論」ばかりしないで、ちゃんと問題を掘り下げろ！  
●テレビ朝日 (3587)5111 ●TBS (3584)3111 ●ニッポン放送 (3287)1111 ●NTV (3265)2111 ●NHK (3465)1111 ●フジテレビ (3353)1111 ●文化放送 (3357)1111 ●ラジオ日本 (3582)2351 ●朝日新聞 (3545)0131 ●サンケイ新聞 (3231)7111 ●日本経済新聞 (3270)0251 ●毎日新聞 (3212)0321 ●読売新聞 (3242)1111

# 怒ってるあなたのためのアドレス・ノート

## 反戦の声 各地で

### レポートと行動案内

#### ●中縄

中縄で開戦の日を自撃した。その前日にも嘉手納飛行場を見たがその日の様相は全く違っていた。湾岸戦争の主力戦闘機F15が相次いで発進し、空気を引き裂く轟音をたてて頭上で演習を繰り返していた。垂直離発着機ハリアーの離発着を初めて見た。

那覇の真和志教会の西尾牧師の案内でアワセ海軍通信基地のスコープ・シグナルⅢのアンテナを見た。核攻撃を含む大統領の緊急指令を発進するジャイアント・トックの現代版である。普段はたたまれているが、緊急事態が発生するとだちに立てられる。この日もアンテナは立てられていた。ここでも滅多に見られない光景を目撃することになった。

太田新知事は中縄の立場から戦争反対の意見表明をし湾岸対策会議を設置した。嘉手納町議会は戦争終結を求める決議をあげた。地元テレビは、緊迫した海兵隊残留組や家族のインタビューを流していた。

一月十九日に中縄を離れたが、中縄キリスト教平和センターなど市民団体は緊急行動を相談していた。平和団体はつきつぎと声明を出して大きな行動を計画していた。(梅林記)

#### ●鹿児島

十七日、「鹿児島で何ができるかを考える会」が市内の繁華街で「戦争を許さない」とチラシをまいた。海上

自衛隊基地のある鹿児島では「反戦反核をすすめる大隅市民の会」が米軍の湾岸地域撤退とイラクのクウェート撤退を求めてチラシまきと座り込みを行った。二十日には女性グループが中心になって街頭行動を行った。「考える会」は二十七日には、湾岸戦争の背景を考える学習会を予定。

#### ●熊本

自衛隊の海外派兵に反対する九州緊急ネットワーク(木村京子代表、事務局熊本市民センター)が、日本政府、ブッシュ米大統領、フセイン・イラク大統領あての三連ハガキを一万枚作成、二十五日に福岡県庁で記者会見を行って、各地でハガキ運動を開始した。三連ハガキシートで二〇円。申し込み左記は千八六〇 熊本市民北千反畑一〇九 古荘ビル三F 熊本市民センター ☎096(三四五)五九〇四。同ネットワークでは十八日に福岡のアメリカ合衆国領事館前で約五〇〇人が座り込みを行った。二十七日には熊本で集会を予定。

#### ●長崎

十七日約六〇名が平和公園に集まり、戦争突入への抗議と即時停戦を訴えて一時間の座り込み。二十六日には

#### ●佐世保

米軍の弾薬輸送を担う民間チャーター船クリープラント号が呉の広弾薬庫から陸路運ばれた弾薬を満載して二十四日中東に向けて出港した。地区労は十八日六百人規模の集会、二十一日には前畑町の米軍弾薬庫前で抗議行動。二月三日には県内の労組、市民団体などで構成する実行委員会の主催で「やめて戦争・中東に平和を！ピース・チェーン・イン佐世保」を予定。基地メイン・ゲートからバック・ゲートを人間の鎖でつなぐ計画。また市内では街頭でパネル展示、ビデオ上映、署名、ビラ配りが続けられている。この中で横幕に市民のピース・メッセージを集めており、米軍とイラクへ送ることになっている。

#### ●広島

「ピースリンク広島・呉・岩国」では、開戦前から米大統領と国連事務総長にあてたハガキを刷り込んだチラシを配布してきた。「撤退期限」の十五日には原爆ドーム前で約五〇〇人が座り込み。二十日には初め約三百人だった座り込みが、通りがかりの人々も加わって一〇〇人にふくらんだ。座り込みは二十一日以降も毎日昼休みに続けられている。二十七日、二月三日に行動を予定。また「ピースリンク」のメンバーは呉の米軍広弾薬庫での抗議行動(「呉」の項参照)にもかけつけた。☎082(二三三)四二七四 キリスト教会館貸付「ひろ

しま講座

●呉

一月二十、二十一日と二日続けて、米軍広弾薬庫から佐世保への弾薬輸送が行われた。コンテナを満載したトレーラーは午後六時ごろ弾薬庫を出発。交通ラッシュの呉市内を抜け、一般道路を夜ついで走って翌日には佐世保に着く。「トマホークの配備を許すな!呉市民の会」は一九日から三日間連続で弾薬庫ゲート前での抗議行動を展開。また、弾薬を積んだトレーラーを車で追跡、スビーカーを使って一般ドライバーに向けたアピールを行った。真夜中の町を「湾岸戦争」が走る。戦争が長引けば輸送はまたおこなわれるだろう。その時には、輸送ルートをリレー式の抗議行動で塞ごうと「市民の会」では協力をよびかけている。 ☎〇八三三(二二)二四一四 呉市民の会。

●大阪

十七日夕、アメリカ大阪神戸総領事館(大阪)前に約二五〇人がかけつけて即時停戦の要請行動を行った。関西共同行動一では、以今後以下の行動を予定している。二月四日午後六時から、扇町公園にてアメリカに即時停戦、日本政府に戦争協力停止を求める集会とデモ。一月二十九日、二月八日(いずれも午後六時)に中東情勢を考える連続講座、講師山川暁夫氏、木村修三氏。 ☎〇六(三六四)〇二二三 中北法律事務所気付。

●京都

市民グループと個人でつくるネットワーク「湾岸危機の平和的解決を求める市民の会」は、開戦前の一月十日から十七日の午後二時から七時まで四条河原町で座り込みを続けていた。十七日には正午から座り込みを始め、日本政府にあてた緊急署名を始めた。署名用紙は埋められ

れることにレタックスで首相あてに送り、反戦の声をリアル・タイムで届けた。二十日にはデモ。座り込みは二十一日から二十六日まで午後五時半から七時半まで続行された。今後は毎週土曜夜に行われる。二十七日午後には集会とデモが予定されている。 ☎〇七五(二五五)二二六一 京都トマ連気付「市民の会」。

●名古屋

中東に派遣させる自衛隊輸送機の基地・小牧を抱える愛知。「自衛隊派兵を許さない市民ネットワーク・名古屋」は十五日「平和のための祈りの集会」をかきわきに連続ヒラマキ、自民党県連へのデモ。二十一〜五日には県庁前で座り込み。二十七日には小牧基地への要請行動と自衛隊員、家族へのよびかけを予定している。

一方、多国籍軍への軍事支援違憲訴訟が名古屋から全国に呼びかけられている。二月下旬提訴に向けて現在原告団を募集中。この動きは東京(問い合わせは「ピースネットニュース」)、静岡、名古屋、大阪にも広がっている。原告になりたい人は一口二千元をそえて下記へ。千四六六 名古屋市昭和区曙町二一八 たまりば風気付「多国籍軍への軍事支援違憲訴訟の会」 ☎〇五六八(九二)四九二六(墨)

●横須賀

横須賀を母港とする九隻の艦船のうち七隻(うち三隻がトマホーク搭載艦)が中東に派遣されている。十七日朝から市民グループは基地ゲート前で座り込みを始めた。抗議行動は二十日まで毎日行われた。二十一日以降は毎週月曜午後七時から(基地ゲートは京浜急行「汐入」下車五分)。座り込みには「テレビで見た」といつてかつけしてきた高校生も参加している。二十七日に県内、首都圏からも参加してデモを行う。 ☎〇四六八(二五)〇一五七 非核市民宣言運動ヨコスカ。

# とうとう トマホークが使われた

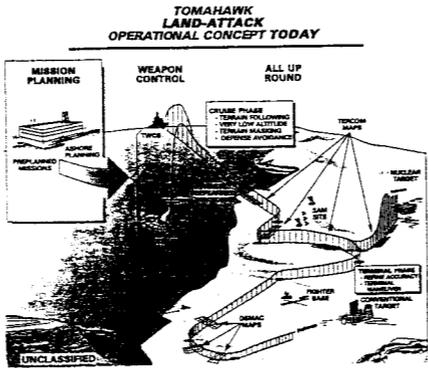
梅林宏道

とうとうトマホークが戦場で火をふいた。

この日を防ぐためにこそ私たちは、七年前運動をしてきたのだ。悔しい。

せめて核トマホークが使用されていないことに慰めを見たいが、それとても保証の限りではない。戦争の長期化が、新しい憎悪の感情を生み出しつつある。

曆を繰ってみると、私たちのネットワーク「反トマ全国運動」はちょうど七年前の一月に誕生している。核弾頭のトマホークの配備が、冷戦下で最大の関心事であり、日本の軍拡と新国家体制への転換を牽引する象徴的な要因であった。私たちは当然そこに焦点を当てて運動をしてきたが、同時にスタンダード・オブ精密兵器としての通常弾頭のトマホークにも警戒を続けてきた。とくに、昨年の八月の湾岸危機以来、通常弾頭トマホークが使用さ



れる危険性を訴えてきた。

もちろん、湾岸戦争の本質は、トマホークという一つの兵器システムからのみ語れるものではない。しかし、冷戦時代の産物であり現在においても米ソの軍縮の最大の障害になっているこの兵器の使われ方について、鋭い目を注ぐ必要がある。

## 在庫の四分の一をすでに発射

一月二二日現在で、二百数十発のトマホークが発射されたと報道されている。よく知られているように、トマホークには四種類があり、昨年の十一月時点で合計二〇二二発のトマホークが米海軍の弾薬庫に貯えられている。その内訳は、 五九三発 対艦攻撃ミサイル(非核)

●神奈川

「相模原」一月二十三日、米陸軍相模補給隊から二十トンクラスのコンテナ一四〇台が搬出され、横浜港から民間のチャーター船で中東に向かった。中身は備蓄されていた「対戦車妨害材」と推定される。明らかに地上戦への備え。湾岸危機発生以来、補給隊からの大量搬出は八、十、十二月に続いて四回目。相模補給隊監視団は基地監視を強化する一方、在日米陸軍司令部のあるキャンブ座間への抗議行動を二十七日に行う。二月三日には補給隊周辺のデモを計画。 ☎〇四二七(五六)一五一 相模補給隊監視団

「上瀬谷」上瀬谷基地はいらないウドの会」は昨年秋から基地への抗議行動を行ってきた。一月二十日にも開戦への抗議行動を行った。基地側は事前のアポイントメントがあるにもかかわらず、面会を拒否。参加者は閉ざされた扉に生花でピースマークをかざり米軍人や家族に対する平和への訴えを繰り返した。二月三日には、基地周辺住宅へのビラ配布と再度の抗議行動を計画している。 ☎〇四五(三六三)一一一 内四三三 富永気付「ウドの会」

「大和」厚木基地周辺では「平和を作る大和市民の会」「厚木基地を考える会」「アジアと暮らしを考える会」の三団体が二十日、基地に抗議文を手渡した。

「横浜」市民有志は首相あてて戦争協力反対を訴えるハガキ運動を始める(一枚十円)。二十七日には横浜駅西口で座り込み。 ☎〇四五(四三三)〇四三三 非核県民運動気付「湾岸戦争に反対する市民たち」(仮)。二月三日には横浜駅西口で「海外派兵に反対するパッジの会」よびかけてダイ・インが行われる。 ☎〇四五(九六二)八四七四「パッジの会」

(八ページ下段へ)

対地攻撃ミサイル(非核単一弾頭) 八八六発  
対地攻撃ミサイル(非核小散弾頭) 一七五発  
対地攻撃ミサイル(核) 三六七発  
計 二〇二二発  
今回湾岸で使われているのは対地攻撃ミサイル(非核)である。単一弾頭のものとは小散弾頭のものとの割合で使われたかは不明であるが、二種類を合わせても約八九〇発しか在庫がないわけであるから、四分の一をすでに使ったことになる。

また、現在までに中東地域に配備された軍艦のトマホークのうち非核弾頭のもの約七二〇発と考えられているから(グリーン・ピス推定)、その内の約三分の一をすでに使ったことになる。

この事実からだけでも、二つの重要な問題が浮かび上がってくる。

## 海洋軍事力の独占をねらう

一つは、増産も含めて、トマホーク計画の大幅な拡充を誘発する可能性が見えてきたことである。もともとトマホーク購入計画は、一九九二会計年度(一九九三年九月末に終了)で完了するものであった。しかも、実際の購入は当初計画よりも大幅に遅れていた。海軍は、トマホークの有用性を強調し計画の延長

を立案していたが、冷戦終結と予算削減圧力のもとで、先行きは必ずしもはっきりしていなかった。しかし、湾岸戦争でトマホークが多量に使われることによって、海軍はこの兵器システムの拡充に主導権を発揮する端緒を見いだした。

むしろ事柄は逆で、海軍は鳴りもの入りで開発してきたトマホークを使用する必要性に迫られていたのであり、そのために戦争を急いだ側面を見逃してはならないであろう。事実、八月の湾岸危機の発生直後、海軍はいち早くトマホークのコンピューターにイラクの攻撃目標の情報をインプットするなど、使用体制に入ったことを公言した。(ワシントン・ポスト紙、一九九〇年八月十四日)。

もちろん、性能についての厳密な評価が下されてゆくであろう。しかし、米軍側の人的損失を避けるという議会の要求は、今回の湾岸戦争によって、ますますトマホークのような無人兵器に比重を置くようになっていくと思われる。

この動向は、単に米国内の主導権争いの次元ではなく、冷戦後の世界構造にとって重要な意味を持っている。米ソの軍縮が本当に定着してゆくためには、海洋軍縮について相互の共通点を見出してゆくことが鍵となっていた。アメリカは、海軍の対ソ優位性を確保し

続けようとし、ソ連の保守派は、にもかかわらずゴルバチョフ大統領が一方的に軍縮を進めようとする傾向に強い危機感を抱いていたのである。湾岸戦争は、米国の海の優位をますます確固たるものにし、世界支配力を強化する力学を生んでいる。米ソの軍縮の今後に深刻なマイナスイメージを生み出すにはおかないであろう。

### 精密兵器の落とし穴

第二に、トマホークを含め、ハイテク精密兵器が戦争を誘発し、拡大させるものであることが立証された。これらの兵器の有効性を力説することによって、米国は戦争が短期間に終結し、一般市民の被害を最小限に留め得ると議会や世論を説得した。第一波の爆撃をしたときのあの樂觀ムードが当時の単純な精密兵器信仰を雄弁に物語っていた。

しかし、思ったとおりの成果が上がっていないことが明らかになったとき、軍事攻撃対象を拡大し、つぎつぎと民生関連目標へとエスカレートしてゆかざるを得ないのである。すでに、発電所や、原子炉の破壊が公表されている。力で屈伏させる論理に立つかぎり、それは避けるべくもない流れである。戦争は、短期間に終わるどころか泥沼に落ち込んでゆ

(六ページから)

### 東京

十七日、アメリカ大使館前は開戦に抗議する人の波が絶えなかった。十九日には「日本はこれだけの市民連合」などの呼びかけで六〇〇名が大統領に対する抗議行動を行った。「反トマ運動」のネットワークに連なるグループ、個人の多くが参加した。デモは二十六日にも行われる。ここでは書き切れないほどの多くの行動が行われ、計画されている。二十一日には「バッジの会」、ピース・ネットなど呼びかけのダイ・インが渋谷駅前で行われた。二十五日には、「戦争への道を許さない私たちの会」が国会デモ。二十七日には「日市連」が渋谷で街頭ミニ・コンサート。二月二日には「バッジの会」などが国会周辺でダイ・インと人間の鎖を計画している。日本政府の戦争協力に反対する署名運動も始まった。呼びかけは「バッジの会」「ピースネットニュース」など。

以上紹介したのはほんの一部。首都圏、東京での行動については次のグループに問い合わせ下さい。(二月三十一日、三十一日)

く。一般人の被害も最少にするどころか意図的に非戦闘員への波及効果を狙ってゆく状況に追い込まれてゆくであろう。

兵器への過信によって引くことの出来ない戦争の深みにはまっていくな、その引き金を、近代精密兵器が引いている。

### SLAMとは何か

も少数のトマホークを発射したという報告がある。ここに名前の上がついている洋上艦に配備されているトマホークをすべて合計してもその数は七二発であるから、さらに多くの軍艦からトマホークが発射されたと考えなければならぬ。

発射海域としては、紅海、ペルシヤ湾、東地中海の名が、これまでの報道の中で名前があがっている。空母ミッドウェイはアラビヤ海を中心にパトリールしていると言われるので、横須賀のトマホーク艦はオマーン湾、ペルシヤ湾にいるものと考えられる。洋上艦のトマホークの射程距離を考えると、そこはイラクの東側の目標を叩くのに適した海域である。

これらのことから、横須賀のトマホークが使われた可能性は否定できない。

トマホークのことを書きながら、私たちがポスト冷戦時代の横須賀、ひいては日本の進路を考える大きな歴史の局面に立たされているのを感じる。

「トマホークの配備を許すな!全国運動」という名前が、トマホークを主力兵器の一つとして使ってしまった湾岸戦争によって、否応なく歴史の風雪にさらされている。

資料あります●PCDS(太平洋軍備撤廃運動)特別報告書「中東危機—太平洋からの視点」二二〇〇円 お問い合わせはトマ喰い虫社分室〇四五(五六三)五一〇一八。

テレビにミサイルそのものが捉えられた標的の写真が映しだされた。それは、ミサイルが標的に近づくにしたがって大写しになって命じた瞬間に消えた。アナウンサーによると、SLAMという新型ミサイルで初めて二発が発射されたという。トマホークのような海洋発射巡航ミサイルをSLCMと総称するので紛らわしいが全く別の精密兵器である。

このような映像を流すことは、前項にのべた精密兵器信仰を作り出す意図的なPR作戦の一部である。しかし、信仰を打ち破るためにはこのように流される事実から目をそらすず、むしろその兵器情報の背後にある社会、人間的側面に思いを馳せる姿勢が必要であると思う。

SLAMは、スタンドオフ・ランド・アタック・ミサイルの略で海軍の空母艦載機専用の誘導ミサイルである。ペトナム戦争の教訓で空母のパイロットの損失を少なくする目的をもって、一方では巡航ミサイルトマホークのような無人兵器が開発されたが、一方では出来るだけ離れた距離から飛行機からのミサイル攻撃が出来るようにSLAMを開発した。射程は約一〇〇キロメートルで、艦載機のA6、A7、そして多分F18から発射できると言われている。したがって、ほとんどの空母が発射能力を持っているという事が出来る。

必ずしもミサイルの誘導のために二機の飛行機を必要とする訳ではないが、テレビに映った攻撃の場合、紅海の空母サラトガから発進したA6が発射機となり、A7が誘導したという。(「ロサンゼルス・タイムズ」、一月二二日)。そして、一発目のミサイルが作った穴の中に二発目が入ったとして精度を誇った。

### 横須賀のトマホークは使われたか?

横須賀を根拠地とするトマホークは火を吹いたのであるか。

現在、横須賀を母港とする三隻のトマホーク艦が湾岸にいます。イージス巡洋艦のバンカーヒルとモービルベイ、駆逐艦のファイフである。それには公称九七発のトマホークが積まれている。はっきりとした情報はないが発射していないと信ずる理由はない。

PCDS(太平洋軍備撤廃運動)が整理したこれまでの情報は次のようなものである。トマホークを発射した船で名前がわかっているのは、湾岸戦争の火蓋を切った戦艦ウイコンシン(紅海から)、ペルシヤ湾にいる戦艦ミズーリ、それに駆逐艦レフトウィッチの三艦である。この他に一隻以上の潜水艦から

# 九〇年のヨコスカ・原潜・トマホーク

——去年、ヨコスカへの原潜の入港は史上最高の33回。多くがトマホーク搭載が決定している「ロスアンジェルス級」と「スタージョン級」だった。

H 史上最高という言い方はどうか。31回と33回の違いよりも、トマホークの配備の直前から増え出した原潜の入港回数、ずっと高いレベルで続いていることのほうが重大だ。

S ヨコスカがより実践的な原潜の拠点になったということだよ。

——トマホークは極めて柔軟性にとんだ兵器で、どのような紛争にもこれ一種類で対応できると米海軍は盛んに言っている。ヨコスカへの原潜の入港が増えたのも、原潜がトマホークを搭載したことの現れとっていいのかな。

S 対地攻撃の能力をもったというのは、原

潜の行動パターンに大きな変化をもたらしたはずだね。

——それと、去年の入港で目立ったのは、反復入港と沖止まり。

H 沖止まりですぐ出て行った原潜が、次の日にまた入港して来たり、同じ原潜が何回も出入りをくりかえした。

——何をやってたのだろう。

S 沖止まりをした原潜にタグボートが近付き、何かを手渡ししていることは間違いない。まだ誰も写真をとれてはいないんだけど。

——いずれにしても、そうした変則的な入港そのものが、ひとつの訓練であることは間違いない。

S そうだね。たとえば沖止まりで受け取った新しい暗号表にもとづいて、次の日に再入港して何かの評価をしているとか。

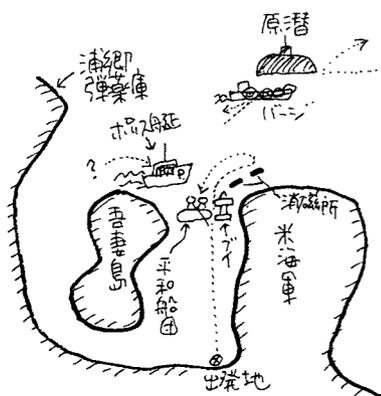


——12月6日、バーミンガム(ロスアンジェルス級)が沖止まりをして、「平和船団」が出動したときの話をしよう。

S 手漕ぎボートで臨海公園を出て、消磁所を過ぎて(ここまでたどり着くのに普通は1時間以上かかる)10分ぐらい過ぎたころ、パミットが基地の真北でUターンした。基地から出て行ったタグボートとはほんの数分接触しただけだった。ボートからは何をしているのか、遠くてわからない。しかたなく、もどってきて基地の入り口の青ブイを越えたところまで米軍のポリス艇が近付いてきた。はじめはいつものやつかなと思っていたが、後ろの座席に7人ぐらいの迷彩服が見えた。随分乗っているなと思っていたら、近付くとヘルメットにライフル銃で武装しているのがわかった。7人全員がライフルを持っていた。これはやばいと思った。そのうち一人がライフルを持ち上げて、何だかしきりにライフルを持っていることをアピールする。「なにをしにきたんだ」と聞かれた。「観光だ」と答えた。

——ほんとに!(笑)

S そう。で「写真を撮っているか」ってきくから「撮った」と。



T 向こうが写真を撮ったんで、こちらも撮ろうとすると、茂樹さんがカメラを突然出すと武器と思われるとやばいからっていうから、これはカメラですよってわかるように、ゆっくりカメラをだして…

——あの1枚は決死の1枚だったんだ。(笑)

T そうだよ。(笑)

S できあ「英語を話すか」と聞くから「リトル」と言ったらそれとたんに「ペラペラペラ」ときた。おそらくここは立ち入り禁止だと警告したんじゃないかな。捕まるか、発砲されるんじゃないかと思ったね。そこへ、保安庁の船が間に割って入ってきて、ことなきをえた、というわけ。

——またもや保安庁に助けられた。(笑)

S 不思議なのは、ポリス艇が吾妻島の方からきたことなんだ。

——原潜の警備ではなかったということ?

S パミットのそばにいなかったことは間違いない。

T 基地のパトロールにしては、7人のライフルというのは物々しすぎるね。

——浦郷薬庫で何か重要なものの荷揚げがあったのかな。あるいは搬出が…

S うん。そうかもしれないね。

T 今度、原潜が入港したときに平和船団を出せば、ポリス艇の様子を比べることができるとね。

——それはもうぜひやろう。

T そのときはエンジンボート出そうよ。手漕ぎボートで追い付くはずがないよ。(笑)

——確かにそうだ。(笑)

●ロスアンジェルス級、スタージョン級原潜の入港した日の、午後7時。ヨコスカ基地ゲートに集まって入港抗議行動を続けています。ついでがありましたらぜひ来てください。

ストロング茂樹船団長(S)、広沢乗組員(T)、春男乗組員(H)、聞き手・新倉

会計報告

(90. 12. 13 ~ 91. 1. 15)

【収入】

○前月からの繰越	104,689
経常繰越	254,689
借入金繰越	△150,000
○今月の収入	317,960
会費収入	197,000
内	
維持個人	10,000
維持個人	87,000
維持個人	0
維持個人	34,000
維持個人	66,000
カンパ収入	107,975
行動収入*	5,985
資料収入	1,000
反核ホットライン収入	6,000
アンケート調査収入	0

【支出】

●今月の支出	189,808
家賃	30,000
水道光熱費	10,765
電話代	13,513
郵送費	38,509
文具代	16,200
印刷費	52,596
行動費	23,125
資料経費	0
反核ホットライン経費	0
アンケート調査経費	0
雑費	1,030
郵便振替等手数料	4,070
●次月への繰越	232,841
経常繰越	382,841
借入金繰越	△150,000

【会計より】  
 \*たぐさの会費と年末カンパの送金を本当にありが  
 うごさる見込みです。湾岸戦争の終結に向けて今後支出  
 が増える見込みです。引き続きよろしくお願ひします。

(八ページ下段から)

日には大規模な共同行動が計画されています。◎三(三三七九)◎四三「日本はこれだいか市民連合」  
 ◎三(三八一三)六四九〇「ピースネットニュース」

●横田

昨年十一月に飛行量が異常に増えた後十二月以降米軍基地内には飛行機はほとんどいない。憲兵隊とC-130輸送機の部隊が中東に派遣されたことは米軍の正式広報で確認されている。

草の根市民グループが集まってつくった「湾岸戦争に反対する横田基地周辺市民フォーラム」は十八日基地へ抗議文を出した。さらに二十日には一五〇人が無届けデモ。二十七日から日曜日五回連続デモ。また、米兵とその家族に対して「血を流すな」との英文ビラをまいている。◎四(二五(五)一)八九〇六 遠藤方「市民フォーラム」

●新潟

「自衛隊の海外派兵に反対する市民ネットワーク」と「湾岸戦争に反対する実行委員会」は十八日には繁華街でデモ行進。十九日にはデモを行った。二十一日の県評センター・原水禁など主催の集会には市民も多く参加。集会后、「ネットワーク」よびかけでデモを行った。地元紙「新潟日報」は、約十回連続で毎日六分の一ページの記事でネットワークのメンバーのインタビューと顔写真を掲載中。

●三沢

核燃料サイクル基地問題を焦点とする青森県知事選で、白紙撤回の立場の金沢茂候補を県外から泊り込みで応援にきている人たちが中心になって、二十日から毎晩七、八時に米軍三沢基地前で十名前後がローソクを手に抗議行動を行っている。二月三日の知事選投票が終るまで続けられる予定。

●札幌

十六日夕、地区労がアメリカ総領事館前で集会とブッシュ大統領あて申し入れ。二十日にはいくつかの市民グループが集まって緊急抗議行動。また、署名運動も始まっている。◎〇一(七四六)二八〇一「トマホークの配備を許すな! 反核北海道行動」

●編集後記

分室のそばを通っている線路を今、一番電車が通りました。向かいではN君が沈没寸前! という顔をして最後の版下貼り込みをしています。今日は土曜日(26日)。楽しいはずの週末をこんなにしてしまったブッシュの親父よ、サダムのおっさんよ、そしてうちのトシキ君よ、いったいどうしてくれるのだと机をたたたくハンシユチョウウなのであります。

「反核ホットラインだより」と「読者から」はお休みしました。お許しを。(た)

月刊トマ喰い虫第63号

一九九一年一月二十日発行(通巻六十四号)

\*発行 トマホークの配備を許すな! 全国運動  
 〒一五〇 東京都渋谷区渋谷一五一九  
 パル青山五〇二 トマ喰い虫社

◎三(三三九八)六〇九五  
 ◎四五(五六三)五一〇一  
 FAX〇四五(五六三)九九〇七  
 \*編集 トマ喰い虫編集委員会  
 \*定価 一〇〇円(通信会員年間二〇〇円)